

庁議記録（令和3年7月13日開催分）

《その他事項》

◆令和2年度可児市総合戦略効果検証結果（案）

及び第2期可児市総合戦略見直し案について

（企画部）

令和2年10月に策定した第2期可児市総合戦略について、令和2年度の効果検証及び、それに伴う総合戦略本編の見直しについて説明するもの。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、評価Cや評価不可の指標も散見され、全体的にウィズ／アフターコロナに合わせた事業実施の在り方の検討が課題となった。

また、総合戦略本編については、国の総合戦略の改訂等も踏まえ、横断的な取組みとして、「新型コロナウイルス感染症予防対策について」と「デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進について」の2項目の追加を行った。

今後は、外部委員による「可児市まち・ひと・しごと創生推進会議」を経て、9月議会で説明をした後、10月の公表を予定している。

◆「国際陶磁器フェスティバル美濃'21」前売り入場券の発売

及び互助会での一括購入について

（文化スポーツ部）

9月17日（金）から10月17日（日）に開催される「国際陶磁器フェスティバル美濃'21」の前売り券販売についてお知らせするもの。

前売り入場券概要

金額 7館共通入場券：1,200円（当日：大人1,500円、シルバー1,300円）

【対象7館】第12回国際陶磁器展美濃、岐阜県現代陶芸美術館、多治見市美濃焼ミュージアム、多治見市モザイクタイルミュージアム、瑞浪市陶磁資料館、土岐市美濃陶磁歴史館、荒川豊蔵資料館

※高校生以下は無料

発売開始 7月5日（月）から

発売場所 可児郷土歴史館、荒川豊蔵資料館、チケットぴあなど各プレイガイドおよびコンビニエンスストア（入場引換券）など

【庁議での意見】

陶磁器は可児市の歴史にも深いつながりがある。多治見や土岐の取組みや、陶磁器についての知見は市職員として重要なこと。積極的に足を運ぶように。

◆花フェスタ記念公園の名称変更について

(観光経済部)

次のとおり、花フェスタ記念公園の名称変更について説明するもの。

新名称 「ぎふワールド・ローズガーデン」(Gifu World Rose Garden)

施行日 令和3年10月9日(秋のローズウィーク初日)

【庁議での意見】

名称変更にあたり、案内等の変更などを適正に対応すること。

◆令和3年度防災訓練について

(総務部)

令和3年9月5日(日)に実施する防災訓練の内容について説明するもの。

本訓練は、平日の業務中に南海トラフ地震(市内最大震度6弱)が発生したと想定し、市及び関係機関がとるべき防災活動を実践することにより、相互の連携体制の確認、職員の防災意識の向上、避難所設営の習熟を図ることを目的とする。

昨年度に引き続き、コロナ禍における災害発生を想定し、リモート(Zoom)を活用した災害対策本部訓練と、可児市避難所運営マニュアル指針(本編及び新型コロナウイルス感染症対策編)に基づく避難所訓練を実施し、その検証を行う。